

要求

つどい

清水さん大車輪

「これがあれば委員会室にも出入りできます。できないのは質問だけ」。胸に付けた前衆院議員バッジを指さしながら語る清水忠史さん。参加者に笑顔が広がります。総選挙で残念ながら議席を失いましたが、捲土重来へ要求実現、つどい・演説会・街宣の弁士と大車輪の活動です。

4項目で5省庁と交渉 3月19、20日国会内で4項目について省庁と交渉しました。

●駅ホームの安全対策を（国交省）

・多発している駅ホームの転落事故で安全対策の状況を聞き、対策を要望。ホームドアの設置は、昨年3月末時点で686駅（近畿は95駅）、駅と列車の隙間に乗客が転落する事例は、16年度で829件であることがわかりました。

・隙間転落事故が続くJR 鳴野駅（大阪市城東区）については、ホーム要員をラッシュ時だけでなく、常備配置するようJR 西日本に対して指導することを要求。その中で、近畿運輸局が今年に入って鳴野駅の調査をしていたこと、今年の春から係員の増員を検討していることが明らかになりました。

●旧奈良監獄 政治犯の事績の常設展示を（法務省）

明治五大監獄の一つ、旧奈良監獄（戦後、奈良少年刑務所）はホテルとして活用されますが、併設される史料館に、収監されていた戦前の政治犯の事績を常設展示するよう要求。治安維持法同盟泉本部の田辺美会長、宮本次郎県議らの交渉に同席。（写真）



法務省からは企画型の展示（期間限定）が提案されましたが、清水さんは「常設展示してこそ史料館としての価値が高まる。そもそも常設展示という話で進めてきたはず。網走刑務所の例を見ても、思想犯の展示が行われている」と述べ、法務省も「そうしたことで話されてきたことは承知している」と答えました。

●特別支援学校のマンモス化対策を（文科省）

特別支援学校のマンモス化による教室不足の深刻化、重度障害の子の送迎が保護者の負担となっている問題で文科省と交渉。清水さんは事前に滋賀県湖南地区の議員団、大阪府障害者学校教職員組合から状況を聞き、対策を求めました。

大阪府教委は学校の新設でなく、詰め込みによって生徒の受け入れを拡大する計画を持っていることを指摘。特別支援学校の設置基準を求めましたが、文科省は「多様な教育を行うために、あえて設けない」との主張を繰り返すのみ。清水さんは多様な障害を持つ児童・生徒への対応ができない実態を重く受け止めよと強く指摘しました。

・乳幼児揺さぶられ症候群（SBS）についても厚労省、警察庁から聞き取りました。

□阪急上新庄駅（大阪市）での視覚障害女性の転落死亡事故で、阪急本社にホーム要員の配置などを要望（1月25日）

□有期雇用労働者の「無期転換ルール」の周知徹底などを兵庫労働局に申し入れ（2月23日）



大阪市東淀川区で(2月)

素敵でした」「清水さんの話には共感できた。自分の生き方に沿うものだった」など快く応じてくれ、総選挙後、清水さんの訴えで入党を決意した人は13人になっています（3月末現在）。

つどい・演説会 100回以上。引っ張りだこ

「清水さんの話に出た」。清水さんはつどい、演説会に引っ張りだこ。1日2、3回はしょっちゅう。評判が評判を呼んで、近畿全域はもとより、全国的にも要請が来ています。総選挙後に参加したつどい、演説会は100回を超えました。テーマは憲法、暮らし、北朝鮮問題、未来社会などなど。縦横無尽な話に「清水さんの話は本当に分かりやすいが、いつどのように勉強しているのか」の質問が出されるほど。

入党決意は13人

入党・購読の訴えには「今日の話は胸に落ちました。何よりも今日の集会の雰囲気

18年近畿ブロック事務所ニュース

Tel 06(6975)9111 Fax 06(6975)9115

No. 15(2018.3.30)